

トヨタ向け一括受託

神戸工業試験場 クリアライズと連携

車載電池材料試験

【神戸】神戸工業試験場（KMTL、兵庫県播磨町、鶴井昌徹社長）は、クリアライズ（茨城県ひたちなか市）と連携し、トヨタ自動車向け車載電池部品の材料試験を一括受託するサービスを開始した。KMTLの強度試験、クリアライズの化学分析試験という両社の強みをまとめて提供し、サプライヤーの試験業務の効率化を支援する。リチウムイオン電池や全固体電池、水素燃料電池を対象にし3年後に売上高で両社とも約3億円を目指す。

両社は連携に関する一た。トヨタが両社の試験実績を踏まえ、それ



神戸工業試験場による強度試験

それが取得済みの試験項目の認定を両社が相互に取得済みとする特例措置をとった。例えば、KMTLがトヨタの車載電池に関

する強度試験の認定を持つていなくても、同電池に関する化学分析試験の認定を持つクリアライズの管理下であれば、KMTLが強度試験を行える。独立系の受託試験事業者同士が、こうしたサービス内容にまで踏み込んで連携するのは国内初という。

国内の受託試験業界は、大手メーカー系列の事業者が半数を占める。それに対しKMTLやクリアライズなどの独立系事業者は、評価の中立性、低コスト、短納期などの点で優位性がある。両社は車載電池に次いで、航空機や半導体業界向けにも同様の一括受託提案を強化する。クリアライズは2020年、日立製作所グループの受託分析事業から分離独立し設立。現在は投資ファンドの100%出資会社となり、日立グループ以外の案件拡大を目指しており、自動車業界向け提案を強化中だ。